

第1日目は冒頭に、全施連理事長 由岐 透氏が、「6月3日の新聞報道で金融庁から「人生100年時代金融庁報告」の中味を危惧しているが、老人・知的障害に限らず障害福祉の分野では10数年前から自助、共助、互助、公助が言われていた。この報道を見て障害者だけでなく障害のない人も同じように年寄ると政府が頼りで、安心して送れる保障が一切ないことが分かる。障害のある人が本当に安心して暮らせる世の中が実現できるか感じている。」などとあいさつがありました。

その後、議案の審議に入り、令和元年度の事業計画として

- ① 24時間一貫した快適な支援施設の新設請願
- ② 新しい形の支援施設のあり方に関する提言パートⅡの出版への協力
- ③ 行政（国・地方自治体）、議会（国、地方自治体）への陳情と意見交換
- ④ 介護保険優先の原則の撤廃
- ⑤ 支援区分の廃止
- ⑥ 組織の拡大と強化
- ⑦ 一人ひとりの活動力強化の研修会
- ⑧ 全施連内部の学習
- ⑨ 友誼団体との連携強化
- ⑩ 財政基盤の確立

等が提案され、全会一致で承認されました。

また、令和元年度全国大会の概要について、全施連の由岐理事長及び事務局から説明がありました。

全施連九州協議会開催 ～九州から大きなうねりを～

令和元年7月16日（火）～17日（水）に鹿児島市で開催されました。「知的障害者・児の安心・安全な暮らしを目指して活動する」という目的を実現すべく、情報や意見の交換、今後の具体的な方針について活発な論議がなされました。地元開催で鹿施連からは中村俊久会長など14名が参加しました。

まず始めに、渡邊民雄熊本県施連会長（全施連副理事長）から、「皆様方に『新しい生活施設の在り方提言Ⅱ』の募金活動ではお世話になりました。本年8月には出版する運びとなりました。1冊1,500円（＋消費税120円）での販売となります。是非購入して読んでもらいたい。家族会だけでなく、施設長や職員、福祉協会、行政関係機関等にも広報してください。また、全施連では、事務局を充実するために会費の値上げも検討しています。ご理解とご協力をお願いします。2日間よろしくお祈りします。」とあいさつがあり、その後、各県から活動報告がなされ、また、参加者により真摯な話し合いが行われました。

意見交換会においては、参加者から『利用者の薬の服用』などについて活発な意見がありました。また、講師に「社会福祉法人落穂会あさひが丘学園」統括施設長水流純大氏を招き「だれもが『生まれてきてよかった』と思える共生社会を創造する」と題して記念講演を開催しました。

2日目は、九州協議会の会則について協議したあと、初めての試みとして「施設見学」を開催し、『社会福祉法人落穂会あさひが丘学園』を見学しました。同学園は、成人部・児童部の入所施設、地域生活支援センター、グループホーム、ホースセラピーを目的とした乗馬施設等々を展開しており、見学者から水流純大統括施設長や職員への質問があり、有意義な施設見学であったと好評を得ました。紙面を借りてあさひが丘学園・水流統括施設長さんや職員の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

全国知的障害者施設家族会連合会の活動の様子は、全施連ホームページ <http://zensiren.web.fc2.com/> で調べることができます。

「全施連ニュース」や各県発行の「会報」、今までの「かごっま家族ねっと」なども紹介されています。

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会会報

発行月 令和元年8月

かごっま家族ねっと



第14号

発行人 鹿児島県知的障害者施設家族会連合会

事務局 〒890-0032

鹿児島市西陵7丁目30番3号

川畑岩夫宅

TEL・FAX 099-281-9548

令和元年度新体制スタート ～鹿児島県知的障害者施設家族会連合会（略称；鹿施連）～

令和元年6月5日（水）、ハートピアかごしまにおいて、令和元年度評議員会（総会）が開催されました。

まず始めに、鹿施連 兼廣倫生会長は、開会のあいさつで

- ① 鹿児島県第5期障害者福祉計画の紹介
- ② 新しい生活施設のあり方提言Ⅱの出版・販売
- ③ 全施連九州協議会「inかごしま」の開催
- ④ 平成30年度を振り返っての家族会の活動の意義の再確認
- ⑤ 鹿施連の活動への協力依頼

等々について話をされました。

続いて、来賓として「鹿児島県知的障害者福祉協会」会長 水流純大氏と「鹿児島県手をつなぐ育成会」理事長 別府則夫氏のあいさつがあり、知的障害者の諸団体が車の両輪のごとく手を携えて運動することの大切さ、知的障害者に係る法制度がどんどん変わる中で、利用者に対してより良い支援へとつなげていくにはどうしたらよいか等について話され、障害者運動に携わる一員としての思い・願いを共有できました。

議事に入り、平成30年度事業報告・収支決算報告・監査報告が報告審議され、原案通り全員一致で承認されました。引き続き、令和元年度の事業計画（案）・予算（案）、運動の基本方針、具体的な取り組みや今年度は、鹿児島市地区、北薩摩地区、大隅地区の支部長及び副支部長の交代があった旨の報告並びに鹿施連役員改選年でもあり、新役員（案）が提案され、質疑応答・討議後、全員一致で承認されました。

最後に、出席者全員で今後の活動の充実・発展を確認し合い、評議員会（総会）の幕を閉じました。



令和元年度 鹿施連の具体的な取り組み

（1）組織の点検と強化

- ① 執行部体制の確立
- ② 支部執行部体制の確立
- ③ 各家族会単位の情報の交換、連携の強化

（2）研修活動の推進

- ① 研修会の開催
- ② 家族会並びに施設職員研修会の開催（鹿児島県知的障害者福祉協会との共催）
- ③ 支部研修会の開催

（3）啓発活動の推進

- ① 広報誌「かごっま家族ねっと」の年2回発行
- ② 鹿施連の存在や活動の紹介

（4）全施連、九州協議会との連携の深化

- ① 全施連理事会・総会への参加
- ② 九州協議会「inかごしま」への参加
- ③ 全国大会（inみやぎ）への参加

(5) 行政機関への働きかけ等

(6) 関連団体との連携の推進

- ① 鹿児島県知的障害者福祉協会との連携
- ② 鹿児島県手をつなぐ育成会との連携

令和元年度 事業計画の予定 (年5回の理事会・年2回発行の会報については割愛しました。)

年 月 日	事 業 内 容	備 考
R元. 6. 13 (木) ～14 (金)	全国知的障害者施設家族会連合会 社員総会 (開催地：大阪市・新大阪ガーデンパレス)	参加者2名
R元. 7. 16 (火) ～17 (水)	全施連九州協議会 (開催地：鹿児島市)	参加者14名
R元. 10. 7 (月) ～ 8 (火)	第14回全国知的障害者施設家族会連合会 全国大会 in みやぎ (開催地：仙台市 ホテルメルパルク仙台)	開催テーマ 「福祉の後退を許さない」 ～ 真の共生社会を目指そう ～
R元, 11. 8 (金)	令和元年度研修会 (開催地：ハートピアかごしま)	提言IIに関する講演会の開催
R2. 1. 18 (土) ～19 (日)	家族並びに施設職員研修会 (共催) (霧島市 京セラホテル)	発表家族会 (鹿児島市地区, 北薩摩地区支部)

鹿児島県知的障害者施設家族会連合会新役員(R元～R2年度)

役職名	氏 名	施 設 名	支部名	役職名	氏 名	施 設 名	支部名
会 長	中村 俊久	しょうぶ学園	鹿児島市	監 事	米元 憲治	明 星 学 園	鹿児島市
副会長	町元 茂	トオモローかのや	大隅地区	監 事	内田 信義	吉田愛青園	鹿児島市
副会長	前田 隆幸	セルブいしき	鹿児島市	事務局長	川畑 岩夫	あさひが丘学園	鹿児島市
会 計	内村 浩子	セルブ鹿児島	鹿児島市	(事務局長は、会長からの委嘱となります。)			

各地区支部等の理事名(R元～R2年度)

支部名	役職名	氏 名	施 設 名	支部名	役職名	氏 名	施 設 名
鹿児島市	支部長	中村 俊久	しょうぶ学園	北薩摩	副支部長	松元由香里	川内なずな園
鹿児島市	副支部長	前田 隆幸	セルブいしき	大 隅	支部長	町元 茂	トオモローかのや
鹿児島市	副支部長	兼廣 倫生	あおいとり	大 隅	副支部長	福田 琴美	トオモローかのや
南薩摩	支部長	宮下 設郎	ふじ美の里	奄美・種屋	支部長	松下 正治	あかつき学園
南薩摩	副支部長	濱田 正幸	白 藤 学 園	奄美・種屋	副支部長	橋田 隆治	愛の浜園
北薩摩	支部長	宮司 礼子	川内なずな園	二役会選任	理 事	岡元 鐵哉	サポートなごみ

H30年度の各支部の活動状況 ～厳しい状況下でも頑張っています～

【鹿児島市地区支部】

年6回の理事会を開催し、支部活動の深化を図り、情報交換・研修の場としています。

各種の研修会には、代表者が出席しています。H31年1月の京セラホテルでの家族会並びに施設職員等との研修会では、吉田愛青園家族会員が「家族としての思い」を発表しています。また支部独自の研修会を開催し、施設長・職員等との意見交換・交流会をして連携を密にしています。鹿施連の牽引役としての自覚を持って活動を展開しています。

【南薩摩地区支部】

講師を招聘して支部独自の研修会を開催し、また、鹿施連理事会の伝達等を行っています。

地区支部内の施設職員、利用者、家族会員等とバレーボール大会を開催し、職員等との意見交換をしています。H31年1月に京セラホテルで開催された家族会並びに施設職員等による研修会では、ふじ美の里家族会員が「家族としての思い」を発表しています。

【北薩摩地区支部】

支部会員らによる総会を開催し、事業報告、事業計画(案)や鹿施連理事会の伝達等を行っています。今年度は支部長・副支部長の役員交代時期であり、「川内なずな園」に引き継いでいます。また、講師を招聘して支部独自の研修会を開催し、意見交換をするなどしています。

【大隅地区支部】

京セラホテルで開催される家族会並びに施設職員等による研修会に参加しています。今年度は、支部長・副支部長の交代時期であり、「トオモローかのや保護者会」に引き継ぎをしています。年2回の支部会議を開催して参加施設の啓発に取り組んでいきます。

【奄美・種子・屋久地区支部】

奄美……奄美市の名瀬三儀運動公園で「ゆうあいスポーツ大会」を開催し、奄美大島、徳之島の10施設から利用者、家族、施設職員等約600名が参加し、競技はもとより家族等の意見交換の場となり有意義でした。

種子島・屋久島……年2回、家族・利用者及び施設職員等のスポーツ大会を開催し、意見交換の場としています。また、この機会を利用して鹿施連理事会等の伝達を行っています。今後も息の長い活動を行っていきます。

鹿施連中村俊久会長就任の抱負



今回、鹿児島県知的障害者施設家族会連合会の会長に就任することになりました、しょうぶ学園太陽会の中村俊久です。

本会は、全ての知的障害者施設利用者の福祉向上を図り、その生活と権利を護ることを目的としています。そして、知的障害者の個性を尊重し、趣味を伸ばしてあげることです。知的障害者の態様は様々であり、障害の重度・高齢化とともに変化があることは避けて通れません。家族も同様に高齢化に直面しています。その人その人の態様やライフワークに応じた柔軟な支援などが必要です。浅学非才の身ではありますが、皆さま方とともに力を合わせて本会の発展のために頑張る所存です。

兼廣倫生 前会長退任あいさつ

この6年間は私にとって、たいへん有意義なものでした。知的障害を持った子ども達のために、国や県の福祉関係の方々と話し合ったり、全国の仲間達と交流を深めたり、文字通り東奔西走の日々でしたが、充実した6年間でした。

我が子らの幸せのため、非力な私を支えてくださったみな様に心より感謝いたします。衷心よりお礼を申し上げます。

わが子らが、親亡きあとも福祉施設などで自分の居場所を確保し、様々な人の理解と熱意に支えられて、心地良く過ごすことが当たり前のこととなりますよう私たちの全施連・鹿施連の運動が一層飛躍することを願っています。

今後は、鹿施連の理事(鹿児島市地区副支部長)として活動を続けますこととお誓いして退任のあいさつとさせていただきます。

全施連 社員総会開催 ～令和元年度の方針定まる～

令和元年6月13日(木)～14日(金)の両日、大阪市において、一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会(略称、全施連)社員総会が開催されました。